

有事に備え 西会津町総合防災訓練を実施

6月28日、新郷体育館周辺を会場として町総合防災訓練が実施されました。本訓練は、町消防団や消防署、警察署、消防支援隊、地区住民などの関係者が参加し、災害時における応急対策を円滑かつ的確に実施できるよう、地域防災体制の確立と住民の防災意識の高揚を図ることを目的としています。

今年は、レベル4土砂災害危険警報が発表され、土砂崩れなどの危険性が高まり、住民が避難を行うという想定で訓練が行われました。はじめに災害対策本部設置訓練が行われた後、新郷体育館周辺で避難所開設訓練や積み土のう訓練、障害物撤去訓練などを行いました。また、町消防団女性消防隊による炊き出しも行われ、参加者たちは実践的な訓練を通じ、災害時の対応について再確認しました。



磐越自動車道4車線化の現場視察

6月18日、薄町長をはじめ町関係者が磐越自動車道4車線化に関する現場を視察しました。

当日は、はじめにトンネル工事の中央管理棟を訪れ、NEXCO東日本新潟工事事務所 西会津工事長から事業の概要やトンネル掘削の進捗状況などの説明を受けました。その後、龍ヶ嶽トンネルの掘削現場などを視察し、工事に使用する重機や工法について学び、4車線化事業についての理解を深めました。町では、引き続きNEXCO東日本新潟工事事務所や工事の請負業者らと連携しながら、早期の完成に向け協力を図っていきます。



「西会津こども研幾塾」開塾！

6月25日、西会津こども研幾塾の開塾式が町役場で行われ、7人の児童が入塾しました。本塾は、町の未来を担う人材の育成を目的に開設され、かつて町出身の教育者・渡部思斎しさいが開いた私塾「研幾堂」をモデルに名付けられたものです。開塾式の後、児童たちは高田教育長を講師に早速マシュマロを美味しく焼くためのプログラミングを体験しました。今後、塾では11月までの間に、農林業や3Dプリンターを活用した体験のほか、医師による講話などテクノロジーを活用した創造性を育む探求活動に取り組んでいきます。



埼玉女子短期大学 萱刈活動・西会津小との交流事業

町と地域連携協定を結んでいる埼玉女子短期大学の学生たちが、7月2日～5日にかけて町内に滞在し、安座おとめゆり群生地あざおとめゆりぐんじの環境保全を目的とした萱刈活動を行いました。学生たちは、「来年もおとめゆりが綺麗に咲きますように」と丁寧ていねいに作業に取り組みました。

また、西会津小学校との交流事業では、学生自らが講師となり、野菜についての授業やおとめゆりの理解を深めるためのグループワークなどを行いました。



▲野菜についての授業の様子

百歳賀寿贈呈式

6月10日に伊藤サツキさん（呼賀）、6月20日に須藤信雄さん（上野尻）の2人がそれぞれ満100歳を迎えました。2人には町や県・老人クラブから表彰状や記念品などが贈られました。めでたく賀寿を迎えた2人の長寿の秘訣は次のとおりです。

【長寿の秘訣】

伊藤サツキさん しっかり睡眠をとること
須藤信雄さん 人と話すこと



▲役場を訪れた須藤信雄さん（写真右から2番目）

西小・西高 サツマイモ定植を体験！

6月11日、JA 会津よつば青年連盟西会津支部・女性部の協力のもと、西会津小学校の3年生と西会津高校の生徒が合同でサツマイモの定植を体験しました。児童・生徒たちは、「美味しいサツマイモが出来ますように」と丁寧に作業に取り組み、広大な畑で互いに協力しながら、約1時間で2,000本の苗を植えました。

写真提供：西会津高校



西会津小 交通安全鼓笛パレード

6月24日、交通安全鼓笛パレードが行われ、西会津小学校の3～6年生が交通安全と交通事故の防止を呼び掛けました。

沿道には地域の皆さんや保護者、こゆりこども園の園児たち、西小の1・2年生が集まり、演奏を見守りながら声援を送っていました。パレードは旧町役場駐車場から野沢駅前を通り、町公民館まで行われました。

この鼓笛パレードは、町民の皆さんへの交通安全啓発と児童一人一人の交通安全意識の高揚を図るため、毎年行われています。

